

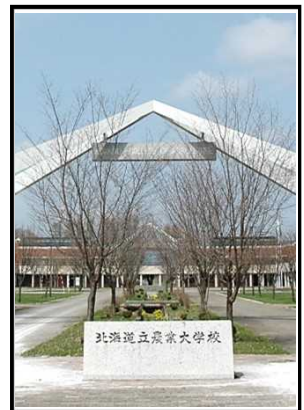
同窓生の皆さんにおかれましては、全道各地でご活躍のことと存じます。

また、日頃より同窓会、学校の発展にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

この度我が農業大学校が第十二回全国和牛能力共進会鹿児島大会に特別区で北海道代として参加され優等賞七席を収めることができました。参加に当たりまして本別町、本別町農協、同窓生、教職員の方々などの沢山のご寄付や応援を頂き誠にありがとうございました。



会長
津島 朗



聖鋏会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会

〒089-3675
中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
FAX 0156-24-2421
編集 事務局

この結果は、日頃の先生方の指導と努力の賜物と思います。また、学生の皆さんには貴重な経験ができたことと思います。地域社会の応援の積み重ねでできた経験でありこのことから、より地域社会の発展に協力をする心を育てていきたいものです。

ウクライナ戦争を発端に世界は二分され、人口も八十億人を超え世界の食料生産が少ないことが明白になりました。今後、食料生産業の重要性をより認識して誇り高い同窓会を進めていきたいと思えます。今後とも同窓生皆様方のご指導とご協力をお願いします。



農大 Instagram

New!
農大のインスタグラムを開設しました。フォロー、ご紹介をお願いします。



農大 Facebook



農大同窓会 HP



農大 HP

【期別世話役一覧】 お気づきの点がございましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

期別	世話役名	期別	世話役名	期別	世話役名
農大25	齊藤かおり 本別町	農大26	日光純一 更別町	農大1	鈴木一義 別海町
農大24	塚田秀則 本別町	農大27	柏葉宏樹 津別町	農大2	渡辺善信 豊頃町
農大23	水嶋美穂 岩見沢市	農大28	嶋貫一也 音更町	農大3	菅谷誠 豊頃町
農大22	平塚美穂 岩見沢市	農大29	鈴木隆也 八雲町	農大4	菅谷誠 豊頃町
農大21	穴戸聖 岩見沢市	農大30	今野大吾 本別町	農大5	岩井敦史 浦幌町
農大20	研究21 大喜多賢亮 音更町	農大31	今野大吾 本別町	農大6	道下貞夫 芽室町
農大19	研究20 山元亮平 新築津村	農大32	今野大吾 本別町	農大7	笹島喜郎 本別町
農大18	研究19 府川諒祐 本別町	農大33	今野大吾 本別町	農大8	井出和実 本別町
農大17	研究18 山口義之 帯広市	農大34	今野大吾 本別町	農大9	富山和也 本別町
農大16	研究17 佐藤広基 更別町	農大35	今野大吾 本別町	農大10	石原英之 浦幌町
農大15	研究16 山崎大裕 訓路町	農大36	今野大吾 本別町	農大11	森本耕二 土幌町
農大14	研究15 元山亮 豊後町	農大37	今野大吾 本別町	農大12	宮本成行 根知安町
農大13	研究14 松浦 豊 帯広市	農大38	今野大吾 本別町	農大13	牧村康弘 帯広市
農大12	研究13 小嶋 光 更別町	農大39	今野大吾 本別町	農大14	牧村康弘 帯広市
農大11	研究12 上村優太 更別町	農大40	今野大吾 本別町	農大15	小松洋一 足寄町
農大10	研究11 富永浩貴 美瑛町	農大41	今野大吾 本別町	農大16	遠山昇治 上士幌町
農大9	研究10 佐藤直哉 東神楽町	農大42	今野大吾 本別町	農大17	田村直樹 浦幌町
農大8	研究9 鈴木健司 豊頃町	農大43	今野大吾 本別町	農大18	大裕晋二 鶴居村
農大7	研究8 仁井邦夫 帯広市	農大44	今野大吾 本別町	農大19	近藤大樹 北極山町
農大6	研究7 中西崇経 富良野市	農大45	今野大吾 本別町	農大20	三田浩司 本別町
農大5	研究6 山岸 淳士 更別町	農大46	今野大吾 本別町	農大21	佐藤昭徳 和寒町
農大4	研究5 木村晴美 足寄町	農大47	今野大吾 本別町	農大22	熊谷直哉 上湧別町
農大3	研究4 加藤幸嗣 浦幌町	農大48	今野大吾 本別町	農大23	田中真理子 本別町
農大2	研究3 内野康晴 浦幌町	農大49	今野大吾 本別町	農大24	塚田秀則 本別町
農大1	研究2 加藤幸嗣 浦幌町	農大50	今野大吾 本別町		



北海道立農業大学校

校長 上西 新次

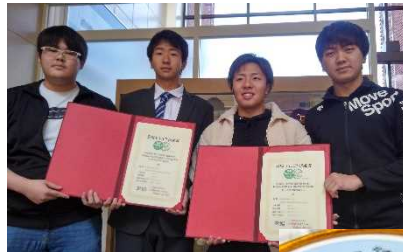
一年を振り返って

同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の運営に多大なご支援とご協力をいただいていることに厚くお礼申し上げます。

一年が経つのは早いもので、この間の本校での出来事についてお伝えしたいと思います。

まず、昨年十一月に七年かけて目指してきた「農場 HACCP」の認証を乳用牛と肉用牛の双方で取得しました。学生と職員が毎年入れ替わる教育現場において、農場の飼養衛生管理を継続的に向上していくことは大変ではありませんが、今後もしっかりと取り組んでまいります。

二つ目に、本年三月、「北海道 HACCP」の認証をアイスクリームで取得しました。本校では、研究課程に



↑ 畜産班で「農場 HACCP」認証を取得！

→ 農大アイスにも「北海道 HACCP マーク」がつけました



において食品加工と販売に取り組みきており、アイスクリームのほかチーズやソーセージ、パンなどを製造し、本別町内の道の駅やイベントの際に販売しています。食品加工における衛生管理は、食の安全安心の最も基本となるものですので、今後ともしっかりと取り組んでまいります。

三つ目に、本年十月、「全共(第十二回全国和牛能力共進会 鹿児島大会)」に「ひめしようぶ号」と学生たちが出場し優等賞七席を獲得しました。五年に一度開催される本大会に

において、今大会から設けられた特別区(高校及び農業大学校)に全国から二十四頭が出品され上位に選ばれたことは、大きな自信と次回の北海道大会に向けた励みになるものです。会員の皆様には多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。次に、現在、民間企業と農大産じやがいもを使用した商品の販売に向け、準備を進めており、農大のPRになればと考えています。

こうした出来事の中、この一年最も頭を悩ましたのが、新型コロナウイルス感染症対応です。本校でも一月に最初の感染者が確認され学校閉鎖を余儀なくされたほか、この二年間は感染者がでないよう多くの行事を縮小したり中止にしてきました。しかし、四月からは、感染者が確認されても拡大防止対策を徹底して行い、これまで中止してきた行事も三年ぶりに再開することとし、農大祭の一般公開、農大市では多くの皆様にお越しいただきました。まだまだコロナ禍であることに変わりはありませんが、引き続き、多くの皆様に農大に足を運んでもらえるよう努めてまいります。

農業の担い手の減少や高齢化、労働力不足など人材の確保が喫緊の課題と言われ続けている昨今、一朝一夕に解決することではないのですが、次の担い手を育てる農業教育こそ持続的に発展させていく必要があります。その教育は本校だけでなく、各地域や各方面でご活躍されている会員皆様方のお力もお借りしなくてはなりません。

私も職員一同、この歴史ある本校の名を汚さぬよう時代に即した教育機能の充実・強化に、引き続き、全力を挙げて取り組んでいく所存であります。会員の皆様におかれましては、本校の運営に対しまして、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



3年ぶりの農大祭 一般公開

農業大学の 主な行事

卒業式・入校式

新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、卒業式・入校式を挙行いたしました。本年は五十九名の卒業生を送り出し、新たに六十五名の新入生を迎え入れました。



令和4年度 入校式



令和3年度 卒業式

強歩大会&農大市 三年ぶりに開催！

今年度は三年ぶりに強歩大会（五月二十七日）、農大市（十月二十二日）を開催しました。



雨の中の激走

強歩大会は、途中から雨が降るあいにくの空模様となりましたが、大きな事故やケガもなく、約三十kmの道のりをほとんどの学生が完走しました。



時間内の完走を目指して頑張ります



栄養補給も大事！

農大市は、晴天の下、町内外から二〇〇名を超えるお客様にご来場いただき、大盛況の内に終えました。



↑ 今年も農大和牛が登場！



← 3年ぶりの農大市は大盛況でした

キャリアサポート

キャリアサポート（就職・就農相談会）の開催も、本年度五回目となりました。本年は、道内各地から過去最多となる七十八団体の参加をいただきました。



中には本校卒業生で求人に来られる方もいらっしゃいました

学生は、多くの企業、農業法人の方とお話ができ、働くことに対する良い刺激が得られたものと思います。

※雇用就農を希望する学生も増えてきております。同窓会員の方々のエントリーをお待ちしています。

オープンキャンパス・ 学校見学会 開催

本年も、オープンキャンパスと学校見学会を計四回開催し、道内のみならず全国各地から多くの生徒さんにお越しいただき、農大をご覧いただきました。



畑作園芸演習の様子
ミニトマトの収穫体験中



畜産演習の様子
頼れる先輩にいろいろ質問しています

全国和牛能力 共進会レポート

〒 鹿兒島

十月六〜十日の日程で開催された第十二回全国和牛能力共進会鹿兒島大会にて、本校の畜産経営学科肉牛管理部が育てた「ひめしようぶ号」が出場しました。

今大会より新設された「高校及び農業大学校」の部に北海道代表として出場し、優等賞七席の成績を修めました。

大会中は毎朝四時起床、五時三〇分には会場入りし、牛洗いや飼料給与、毛刈りに調教と分刻みのスケジュールで準備を進めました。

審査中の学生とひめしようぶは、堂々と落ち着いたもので、三月から毎日行ってきた牛洗いと調教の成果を、全国の皆様に披露することができました。取組発表を行った学生も、自信を持って自分たちの思いを伝えられました。

大会では、全国の農大・農高生との交流もでき、改めて和牛の歴史と奥深さを実感することができました。



全国の大舞台にも臆さず堂々と
入場しました



最後まで念入りに世話しています

今回の共進会参加に際し、同窓会役員を中心に協賛会を立ち上げ、多くの方々に御協賛をいただきました。協賛金の総額は、十一月七日現在で109万110円となり、学生の大会出場旅費等に活用いたしました。暖かいご支援を誠にありがとうございました。

第16回北海道立農業大学校同窓会総会

日時 令和5年2月3日(金) 16:30~
場所 北海道立農業大学校

本年は3年に1度の総会開催年です。ご多用とは存じますが、多くの会員みなさまにご出席頂けるようお願いいたします。

詳細は同窓会HPまたは同封のご案内をお読み頂き、FAXか郵送にてお申込みください。

なお、新型コロナ対策を講じた上で、懇親会も予定してございますので合わせてご参加ください。

〈編集後記〉

同窓会ホームページを更新し、「聖鋏会報」を掲載しました。是非ご覧下さい。

会員(世話人)の動向や同窓会についてお気付きの点などがあれば事務局へお知らせ下さい。